

生きる

鳥取県が先進的に取り組む独自の省エネ住宅基準（ネスト）。温暖化対策の切り札として注目されているのですが、なぜでしょうか。それは、複数の目標にまたがる包括的なアプローチが不可欠と言われるSDG'sその

省エネ住宅に取り組む理由

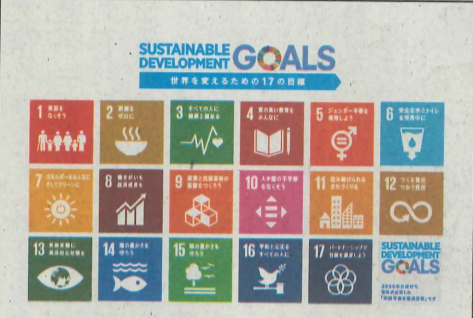
因する死亡や後遺障害。それに 対策としても有効です。ロー 省エネ住宅です。 この制度、そもそもは日本の 住宅耐熱基準に法的拘束力の無 い現状に危機感を持った住宅関 連事業者や医療、林業、環境・ エネルギーの分野の専門家や行 政など多様なセクターが協働で 推進センター・山本ルリコ

日本海新聞環境キャンペーン (年間企画)



SDG'sの推進

日本海新聞環境キャンペーンは2021年、12月まで毎月1回、さまざまな環境問題をテーマに取り上げます。



◆SDG'sとは 国際社会が協力して2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標」。貧困や飢餓の廃絶、地球環境の保全など15年に国連サミットで採択された17項目の目標などで構成されている。通称・グローバルゴールズ。

地球上には今、「待たなし」の危機が迫る。地球の温暖化をはじめとする環境問題もその一つで、国連が定めた持続可能な社会を実現していくための開発目標（SDG's）と幅広い分野で関わる。鳥取県内でも、こうしたグローバルな社会問題を解決すべく、SDG'sの達成に貢献する企業の取り組みが広がりにある。未来を左右する2030年までの10年、私たちに何が出来るか、SDG'sを通して考える。

鳥取県の政策全般にSDG'sの概念を取り入れ、総合政策調整を担う鳥取県新時代・SDG's推進課課長の中村吉孝氏に、現状や浸透策などについて聞いた。

「SDG'sが鳥取県の地域づくりにつながるのか。」 「誰一人取り残さない」というSDG'sの理念の下、人口減少対策などの地方創生に結びつく。世界共通の思想ができたことで、分野を問わずさまざまな人々が連携協力できる可能性が広がることは大

「SDG'sという言葉・内容を聞いたことがある」と答え、若年層の割合が高く県内の認知度は上がってきているが、十分ではない。「平和と安全・安心社会の実現」、次いで「省・再生可能エネルギー」、防災・気候変動対策、循

環型社会」などの課題に高い関心が寄せられている。「とっとりSDG'sパートナー登録団体」は約半年で60を超えた。 これまで企業や経済団体などに引きSDG'sの意義を説明することもあり、団体登録の反応は良かった。企業としてSDG'sの取り組みを発信することはイメージアップ

地方創生に結び付け活性化 ビジネスマッチング機会を

になり、人材確保に有利だ。投資先としての信用度も上がる。 県民一人一人が心掛ける

参考企業の活動紹介

自然浄化力生かす 汚水処理システム

大成工業(米子市) 生活排水処理施設設計・施工の「大成工業」(米子市)が開発した環境配慮型トイレが、下水道の普及が進んでいないインドで国際協力機構(JICA)の普及・実証事業として導入され、注目されている。



同社が1983年に開発した自然の浄化力を生かした汚水処理システム。地中タンク

にたまった汚水を嫌気性菌で分解処理した後、特殊な不織布を施した土壌処理装置を通して処理水を土中に拡散させる。 下水道や処理水の放流先がない場所でも使用でき、電力が不要で半永久的。日本国内では公園や山小屋のトイレなど約500カ所実績がある。

インドでは、ガンジス川流域の公衆トイレ(バラナシ市)と大学の学生寮(ムザファルナガル市)に設置され、本年中にかけて実証を行う。三原博之社長は「安全な水とトイレを世界中に」を軸に、衛生教育などにも努めたい」と話している。

地域づくり継続し 脱炭素社会へ対応

鳥取ガス(鳥取市) ガス、電気などインフラ事業で人々の暮らしを支える鳥取ガス(鳥取市)は昨年11月、鳥取県が呼び掛ける「とっとりSDG'sパートナー制度」に参画。これを機に今月、SDG'sへの取り組み姿勢を自社ホームページ上で公表した。



本社工場に掲げる「とっとりSDG'sパートナー」の証。住み続けられる地域づくりを継続して取り組むことを宣言した

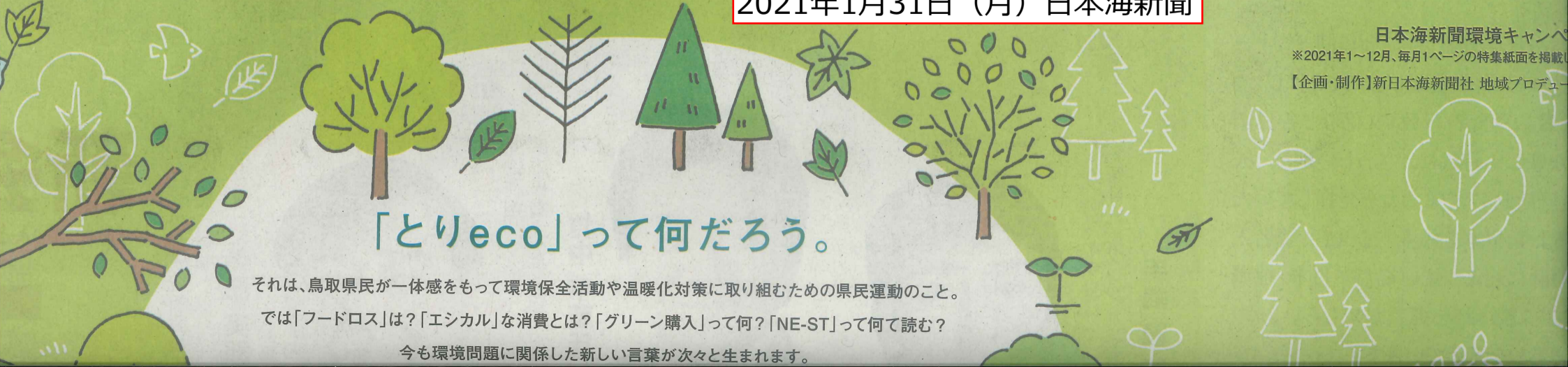
エネルギー供給という公共性の高い事業特性から、元々環境への配慮や住み続けられ

地域づくりの視点を備えた事業を展開していた同社。あらためてガスをはじめ、再生

可能エネルギー由来を含む電力の安定供給、インターネット通信や宅配水などの生活サポート事業、山間部見守りなどの地域貢献活動を通じて、住み続けられる地域づくりを達成すると宣言した。 経営企画グループの森田裕一郎は「これらの取り組みをしっかりと継続し、その上で脱炭素社会への対応も図りたい。エネルギー原料としての水素の可能性のさらなる追求など、鳥取ガスだからできる目標達成を目指したい」と話している。

特集内容は、日本海新聞のホームページ「Net Nihonkai」で紹介しているブックナンバーや協賛各社の最新情報いただけます。 日本海新聞 検索

2021年1月31日 (月) 日本海新聞



「とりeco」って何だろう。

それは、鳥取県民が一体感をもって環境保全活動や温暖化対策に取り組むための県民運動のこと。

では「フードロス」は? 「エシカル」な消費とは? 「グリーン購入」って何? 「NE-ST」って何で読む? 今も環境問題に関係した新しい言葉が次々と生まれます。